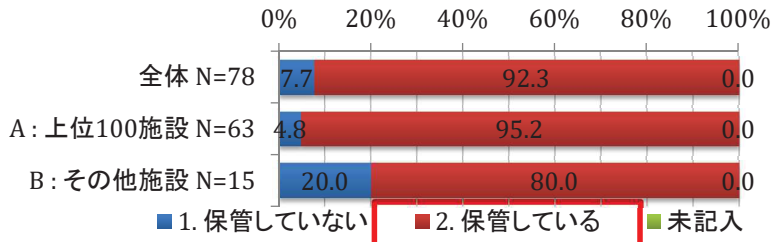


6. 遡及調査について

N=78

輸血前の検体の保管を実施していますか

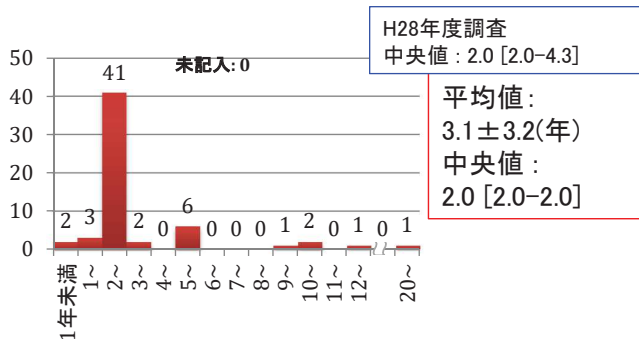


H28年度調査 : 79.4%
A : 84.0% B : 61.9%

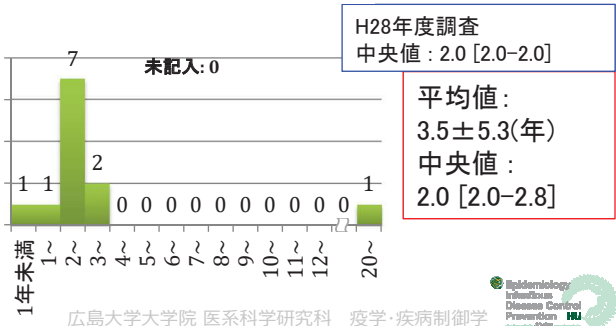
検体保管期間

N=72

A: 上位100施設 N=60



B: その他施設 N=12



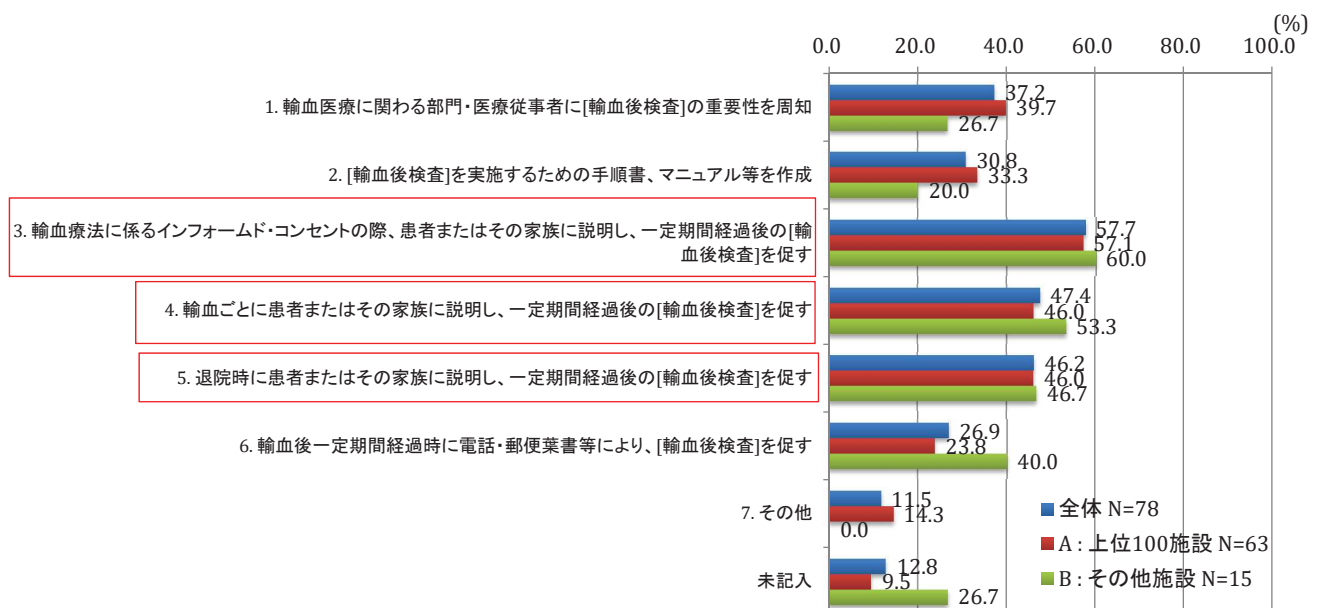
広島大学大学院 医系科学研究科 疫学・疾病制御学



6. 遡及調査について

N=78

輸血後検査実施のための取り組みでやめたもの



広島大学大学院 医系科学研究科 疫学・疾病制御学

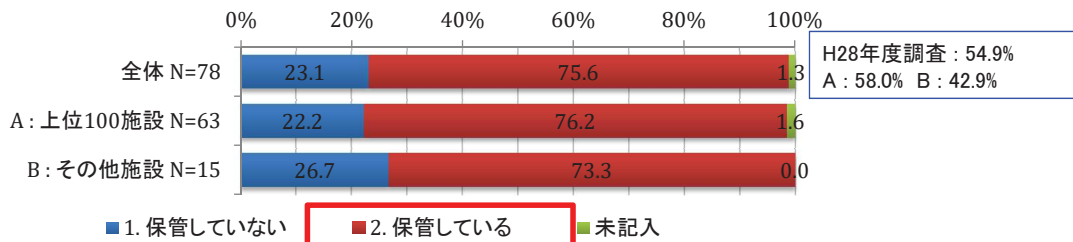




6. 遡及調査について

N=78

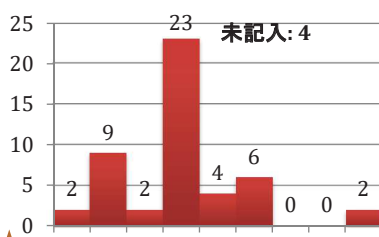
輸血使用済バッグの冷蔵保管を実施していますか



バッグ保存期間

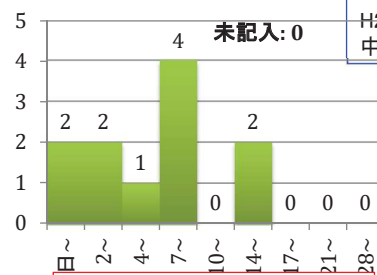
N=59

A: 上位100施設 N=48



H28年度調査
中央値 : 7 [3-10]
平均値 :
 8.0 ± 5.8 (日)
中央値 :
7 [4.3-9.3]

B: その他施設 N=11



H28年度調査
中央値 : 7 [3.5-14.5]
平均値 :
 6.0 ± 4.7 (年)
中央値 :
7 [2-7]

バッグ保存温度

0~8度未満: 39(未記入:2)
8度以上: 9

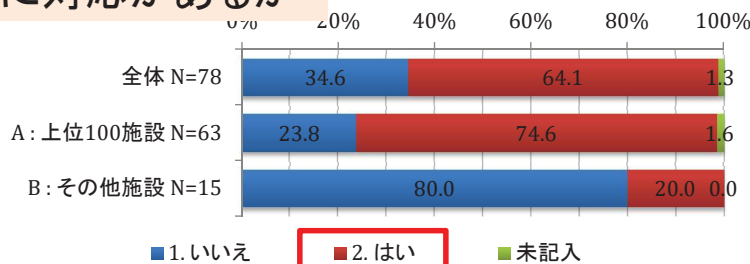
0~8度未満: 8(未記入:1)
8度以上: 2



7. 緊急時の輸血について

N=78

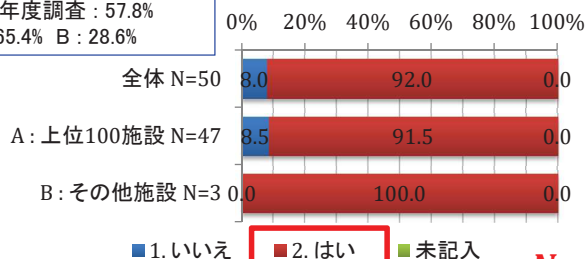
緊急時の輸血に対応があるか



N=50

緊急時の輸血に対応するための院内体制が整備されているか

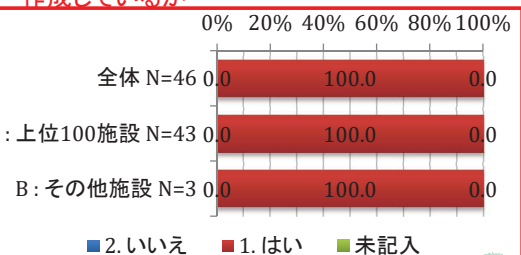
H28年度調査 : 57.8%
A : 65.4% B : 28.6%



N=46

手順書・マニュアルを
作成しているか

H28年度調査 : 96.6%
A : 98.1% B : 83.3%

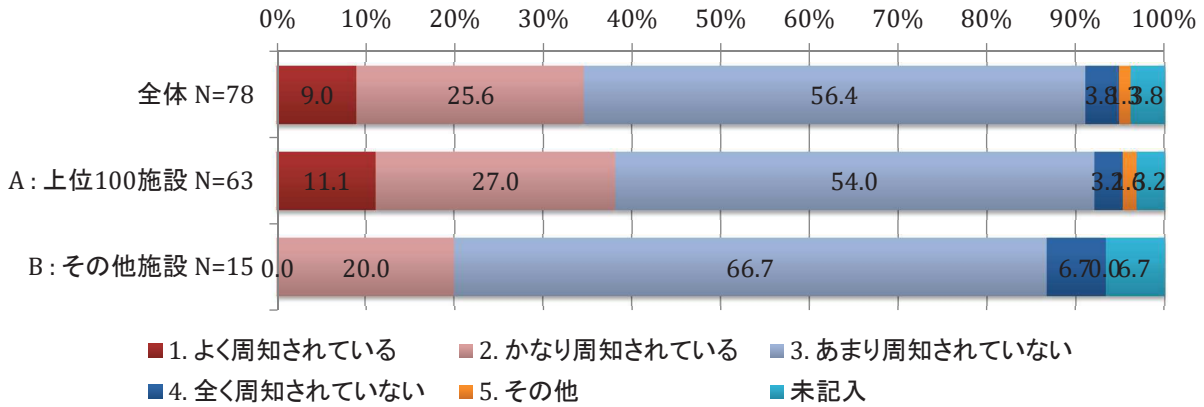


7. 緊急時の輸血について

N=78

「危機的出血への対応ガイドライン」は周知されているか

H28年度調査：28.4%
A：32.1% B：14.3%

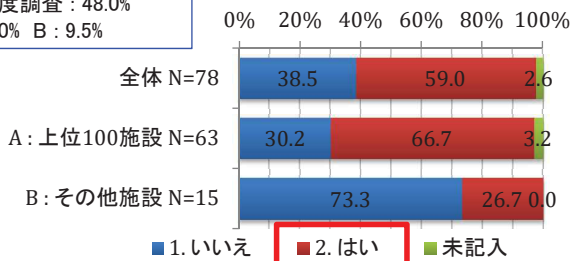


7. 緊急時の輸血について

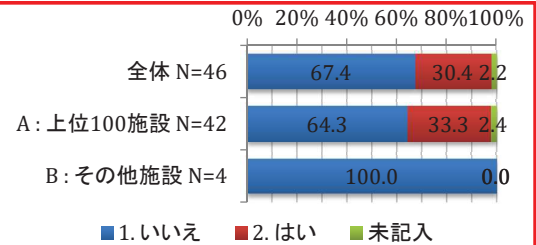
N=78

緊急時等にO型赤血球を輸血する体制となっているか

H28年度調査：48.0%
A：58.0% B：9.5%



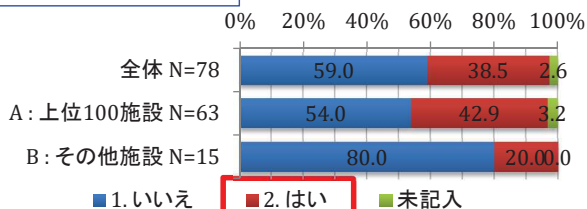
過去1年間に実施されたか



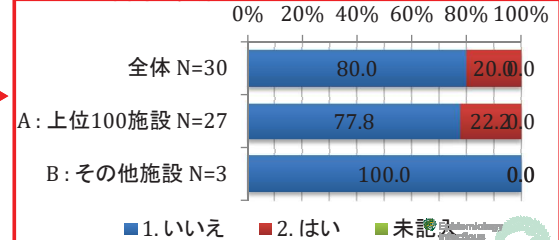
N=46

緊急時等に適合赤血球(O型以外)を輸血する体制となっているか

H28年度調査：34.3%
A：42.0% B：4.8%



過去1年間に実施されたか



N=30